

論文審査の要旨

報告番号	㊥・乙 第 3105 号	氏名	嶋崎 真耶
論文審査担当者	主査 加藤 大 副査 福原 潔 副査 亀井 大輔		
(論文審査の要旨)			
<p>A novel method to quantitatively evaluate slipperiness and frictional forces of solid oral dosage forms and to correlate these parameters with ease of swallowing (内用固形製剤の服用のしやすさと関連する製剤の滑りやすさと摩擦力の新規な測定法)</p> <p>嶋崎氏は、薬の飲み易さに関連する「滑り易さ」が、服薬アドヒアランスに直結する製剤の品質であると考え、2軸物性試験システムを用いた錠剤の動摩擦係数及び静止摩擦係数を乾燥状態及び水中で測定する手法を開発した。開発した手法で剤形の異なった医薬品の摩擦係数を乾燥状態及び水中で測定し、比較を行った。さらに同じ製剤に対して3種類の表面コーティングを施した錠剤について、コーティングが摩擦係数に与える影響を調べた結果、増粘多糖類であるグァーガムが潤滑剤の働きをし、摩擦係数を低下させていることを示唆する結果を得た。</p> <p>本研究は、薬の滑り易さを客観的に評価する手法を開発し、コーティング等により摩擦係数の調節が可能であることを示した。コーティングや剤形によって錠剤の滑り易さを調製する手法を明らかにすることで、本研究の目標である服薬アドヒアランスの向上につながると予想されることから、今後の研究に期待したい。</p> <p>以上の研究成果をまとめた「内用固形製剤の滑り易さの定量的評価」論文及び成果は、新しい知見を得ており、学術上価値あるものと考えられることから、博士(薬学)乙号に相応しいと判断した。</p>			

(主査が記載、500字以内)